

在胎週数 33 週末満で出生された患者さん・ご家族の皆様へ

「早産児の腎機能とクエン酸カフェインの関係に関する解析」について

はじめに

早産で出生した赤ちゃんは、一般的に腎機能障害のリスクがあります。新生児期に急性腎不全を発症した場合、生涯にわたって腎機能低下が残る慢性腎不全に移行することが多く、新生児期に腎機能障害を発症させないことが重要となります。腎不全を予防するための標準的な治療は現在ありませんが、新生児無呼吸発作の治療として使用されるクエン酸カフェイン製剤は、早産児に早期投与することにより、腎予後をよくするという報告があります。当院で出生した早産児において、カフェイン製剤の投与の有無がクレアチニン値と関係しているか評価をする研究を実施しています。カルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では2003年4月から2023年3月までの期間に、鳥取大学医学部附属病院小児科において、在胎週数33週末満の早産児として出生した患者さんから情報を集めさせていただき、カフェイン製剤の投与の有無、または投与のタイミングが腎機能の評価となるクレアチニン値に関係しているかを調査します。クレアチニン値は0歳から3歳の間に測定されている場合はそのデータを評価します。また、それ以外にも、あかちゃんのアプガースコア、出生体重、気管挿管や投与された薬などの治療内容、お母さんの年齢、妊娠中の合併症を調査します。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院小児科で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

出生日、性別、在胎週数、日齢、出生体重、アプガースコア、治療内容（腎機能に影響

する抗生剤やインドメタシン、昇圧剤、カフェインの投与の有無)、児の合併症(感染症の有無や基礎疾患)、血液検査(日齢3~3歳までのクレアチニン、染色体検査)、気管挿管の有無、お母さんの年齢、前期破水の有無、双胎か否か、妊娠中の合併症(妊娠糖尿病、妊娠高血圧)

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2028年3月まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の新生児の急性腎不全の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画を立てて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間

保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は鳥取大学医学部附属病院小児科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】 宮原 史子

鳥取大学医学部附属病院 小児科

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

TEL：0859-38-6552/FAX：0859-38-6550

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。（URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>）